

飯田市美術博物館 2028 ビジョン・基本プラン 後期計画（素案）について

飯田市美術博物館

1 趣旨

本計画は、「いいだ未来デザイン 2028」「飯田市教育振興基本計画」を上位計画とする分野別計画であり、美術博物館のめざす姿と、その実現に向けた学芸活動の基本方針および重点目標を示す「2028 ビジョン」と、それを達成するための取組を示す「2028 基本プラン」で構成しています。

「2028 基本プラン」は、時代の変化などに対応するため、計画の期間を前・中・後期の 3 期に分け取組を定めることとしており、中期最終年度において、中期を総括し後期の目標、取組を設定します。

2 見直し計画期間

全体計画期間（平成 29 年度～令和 10 年度）の内、後期 4 年間（令和 7～10 年度）

3 中期 4 年間の成果と課題

目標	来館者に親しまれ、学びの多様化に対応する教育普及活動と情報提供環境の構築
重点 取組	・来館者が気軽に訪れ、学びたいものや美しいものに触れることのできる市民目線での事業展開とまちづくりを見据えた環境整備 ・社会教育機関が連携した子どもや地域への学びの場の提供と自主活動への支援 ・資料データベースの整備と、展示解説や教育普及活動の充実と情報化 ・学芸活動を深化、発展させる人材の維持確保 ・他の社会教育機関と連携した収蔵場所確保に向けた検討 ・プラネタリウム投影機器更新についての検討
成果	・市民の関心が高い「菱田春草」「城下町飯田と飯田藩」の特別展を開催することで、市民がその価値を学習し、「飯田城下町サポータ」という市民ボランティアが立ち上がった。 ・トピック展「りんご並木と田中芳男」では中学生が見学し学びを深めることができた。 ・館蔵資料のデータベース化を進め、古文書目録の Web 上で公開することによって、市民が研究に活用できるようになった。また講演会の録画配信、オンライン配信を開始し、来館しなくても市民が学ぶことができるようになった。
課題	・アフターコロナへの対応として、密集を生むことを避け、集客型よりも、安心して参加できる満足度重視のイベントへの変化が必要となった。 ・学びの多様化への対応のため、デジタル技術などを活用した発信力の強化がさらに必要となった。 ・文化・芸術に携わる人が減少し、次世代への継承が課題となった。 ・収蔵場所の確保とプラネタリウム機器の更新は、効率的な方法を構築するため、さらに検討を進めることとなった。

4 見直しの方針

- ・美術博物館を利用することによって、市民の多彩な学びが行われ、人々がつながって地域の課題解決にむけた共創の場となることをめざす。
- ・研究活動の成果をデジタル技術などを活用し発信し、多くの人々が美術博物館の機能を利用できるようにする。
- ・伊那谷の自然と文化の価値を保存継承するため、資料の収蔵場所の確保を進める。
- ・博物館機能を維持するとともに、市民の多彩な学びに応えられるように機能強化を進める。

5 これまでの経過

令和 6 年 5 月	職員による前期 4 年間の振り返り評価
5 月～ 8 月	来館者へのアンケートの実施
7 月	美術博物館協議会へ振り返り評価報告、意見聴取
7～ 8 月	各分野評議員会で前期振り返りの報告、意見聴取
10 月・11 月	素案について美術博物館協議会、教育委員会協議会での意見聴取
～11 月	後期計画（素案）検討
12 月	社会教育委員会議での素案についての意見聴取

6 見直しの概要

(1) 2028 ビジョン

- ・リニア新幹線開業延期により、めざす姿から「リニア」の文言を削り「飯田の価値と魅力」を発信し学び合い、持続的な「未来を創造できる」ミュージアムと変更
- ・博物館法改正により、博物館の連携強化として「他の博物館、大学、地域の学校、地域団体との連携した共同研究」、コレクション形成の明確化として「伊那谷の自然と文化に関する特色あるコレクションの形成」を追記
- ・市民の新たな価値の発見や創造につながる展覧会をめざし、「歴史的ならびに新たな視点に基づく展覧会 知性、感性を刺激し創造をもたらす展覧会」と変更

(2) 2028 基本プラン

① 後期達成目標と重点取組

目標	・飯田の価値の学びの一翼を担う教育普及活動及び資料センター活動の推進
重点取組	・市民や各学術研究・教育機関との協働を拡充し、学びの多様化とまちづくりに応える取組 ・収蔵場所の確保に努め、博物館資料等の保存に努める ・デジタル技術を活用して、博物館資料の情報公開や展示、教育普及での発信力を強化 ・博物館活動を継続して行えるように施設や体制を整え、市民誰もが集い学ぶ開かれた場としての機能を高める

② 分野別主な取組

分野	取組内容
共通	・収蔵資料のデータベース化と情報公開、関係機関連携による収蔵場所の確保 ・こどもの学びや地域づくりに活かす教育の実践
自然	・エコ・ジオパークの基礎研究、南アルプスの特性を明らかにするための周辺研究 ・エコ・ジオパーク、環境教育の普及支援
人文	・遠山郷および田中芳男を中心にした調査研究の連携と教育普及 ・南信濃村・上村合併 20 周年、田中芳男没後 110 年など、節目に合わせた展示
美術	・郷土作家・地域コレクションの調査研究、郷土の近現代美術の調査 ・地域の創造力を刺激し、発信する展覧会の開催 ・複製画による出前鑑賞授業
天文	・こどもとともに天文学宇宙を学べる番組の投影 ・親子で参加し天文に親しむ教育普及活動

③ 活動指標（検討中）

項目	現状（R1）	現状（R5）	目標（R10）
市民意識調査 住んでいる地区や飯田市の自然・歴史・文化・風土などに誇りや愛着がある人の割合（％）	69.2	75.4	
文化活動を 1 回以上行っている人の割合（％）	63.9	59.1	
来館者数（人）	44,442	30,938	45,000
講座等参加者数（人）	6,235	6,546	6,500
展覧会・市民ギャラリーの観覧者数（人）	49,758	31,700	50,000

7 今後の策定スケジュール

時期	会議名等	附議内容等
12 月 10 日	部長会議	素案説明
12 月 13 日	教育委員会定例会	素案説明、意見聴取
12 月 16 日	市議会社会文教委員会協議会	素案説明、意見聴取
1 月 1 日～1 月 30 日	パブリックコメント	意見聴取（30 日間）
2 月 18 日	教育委員会定例会	最終案確認
2 月上旬	美術博物館協議会、各分野評議員会	最終案確認
3 月 3 日	部長会議	最終案説明
3 月 12 日	教育委員会定例会	議案附議、計画決定
3 月 19 日	市議会全員協議会	計画報告